

すみれ通信 10月号

すみれ通信は、医療・介護に携わる方に
発信しています

(第124号)

〒 251-0032

藤沢市片瀬339-1

藤沢市医師会館

在宅医療支援センター

TEL 0466-41-9980

FAX 0466-41-9981

✉ fuji-zaitaku@movie.ocn.ne.jp



「在宅医療において積極的役割を担う医療機関」

皆さんご存じですか？

今後高齢化の進展等による介護認定者や認知症患者は大幅に増加することが見込まれており、疾病や障害を抱えつつ自宅や地域で生活を送る者が今後も増加していくことが考えられ、在宅医療のニーズは増加しています。今後見込まれる在宅医療の需要の増加に向け、地域の実情に応じた在宅医療の体制整備を進めるために、神奈川県第8次保健医療計画に「在宅医療において積極的役割を担う医療機関」が位置付けられました。

【藤沢市内の医療機関】7カ所

- ・クローバーホスピタル
- ・湘南ホスピタル
- ・湘南太平台病院
- ・藤沢善行ファミリークリニック
- ・湘南台スマイルクリニック
- ・湘南ゆずクリニック
- ・藤沢御所見病院



在宅医療において積極的役割を担う医療機関は

①退院支援、②日常の療養支援、③急変時の対応、④看取りの機能の確保に向け積極的役割を担うとして

- ・自ら24時間対応体制の在宅医療を提供
- ・他医療機関の支援
- ・医療、介護、障害福祉の現場での多職種連携の支援が求められています。

これから、在宅医療において積極的役割を担う医療機関として位置づけられた7医療機関を中心に、藤沢市の在宅医療の課題改善に努めていきたいと考えています。

それぞれの立場で日頃感じていることや、ご意見等ぜひ在宅医療支援センターにお寄せください。

R7年度 第2回市民公開講座のご案内

“まだ早い”と思った瞬間が始めどき！

わたしの人生最終章デザイン

ーやさしく学ぶ人生会議(アドバンス・ケア・プランニング)ー



講師：藤沢善行ファミリークリニック 松木孝道 医師

日時：令和7年11月9日(日) 10:00～11:30

場所：善行市民センター



「認知症初期集中支援チームについて」

高齢者支援課

認知症初期集中支援チームは、国の専門的な研修を受けた医療・福祉・介護の専門職によって構成されたチームです。本市においては、11名の認知症サポート医のご協力のもと、高齢者支援課の専門職がチーム員として活動しています。

認知症が疑われる人や認知症の人およびその家族を訪問し、本人やその家族に対する診断・対応を含めた早期支援を行うことを目的としており、おおむね6ヶ月、集中的に活動を行っています。昨年度は13件の相談があり、いきいきサポートセンターから相談が寄せられることが多い状況です。

対象者は、40歳以上で、在宅で生活しており、かつ認知症が疑われる人又は認知症の人で以下のいずれかの基準に該当する人となっています。

◆医療サービス、介護サービスを受けていない人、または中断している人で以下のいずれかに該当する人

- (ア) 認知症疾患の臨床診断を受けていない人
- (イ) 継続的な医療サービスを受けていない人
- (ウ) 適切な介護サービスに結び付いていない人
- (エ) 介護サービスが中断している人

◆医療サービス、介護サービスを受けているが認知症の行動・心理症状が顕著なため対応に苦慮している人

対象者の状況も様々で、周辺症状が強く出ている方やキーパーソンの不在、支援を受けることへの拒否など、支援につながるまで時間がかかる場合もあり、認知症サポート医の訪問やチーム員会議などを積み重ねながら支援しています。

また、数回の介入で必要な医療や支援につながる人もいますが、実際には6か月以上支援を継続する場合もあります。

認知症初期集中支援チームの取組が、認知症の人やその家族がいつまでも住み慣れた地域で安心して暮らしていけることの一助になればと思っています。

